

令和元年度 ふれあいファミリアミーティング報告書（六倉区）

令和元年11月26日（火）18時30分～ ◆会場 六倉児童館 参加者◆22人（男16人・女6人）

行政区出席者◆平川区長ほか

町側出席者◆小野澤町長、佐藤教育長、柏木総務部長、澤村民生部長、家城建設部長、和田環境経済部長、山田教育次長、石川消防長、小倉危機管理室長
奈良総務課長、総務課広報・シティセールス班（高橋・油井）

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
1	町内循環バスのバス停を、諏訪老人いこいの家の前にも設置してほしい。	町内循環バスにつきましては、アンケートを実施し、現在集計中です。その結果を基に、ご意見も踏まえながら、見直しの取り組みを進めていきます。（町長）	企画政策課	同左
2	愛川北部病院では、診察の際に名前を呼ばれる。モニターに受付番号を表示するような方式に変更できないのか。	番号で呼び出しをする病院が多くなっています。同じような考えを持っている方も多いと思いますので、愛川北部病院へしっかりと伝えていきます。（町長）	健康推進課	11月27日に愛川北部病院へお伝えしたところ、「全ての患者さんを番号で呼び出しすることは、患者取り違えなどの恐れがあることから、対応は困難であるが、名前での呼び出しに支障がある方は、受付に伝えていただければ、個別に対応をしておりますので、ご相談ください」とのことでした。
3	高田橋際の信号は、県道511号に右折レーンがなく、時間帯によっては非常に渋滞する。また、内陸工業団地の東外3丁目交差点でも、外周道路に右折レーンがない。	県でも状況を承知しています。町からも要望をしています。時間がかかる問題です。引き続き要望を続けます。（町長）	道路課	同左
4	県警が交番の見直しをすると新聞に載っていた。町内の交番も該当するのか。	県警では、10年かけて約470ある交番を約400に統廃合するということです。具体的にどこの交番が対象になるかという話はまだ出ていませんが、町としては町内の交番が減らないよう、県警へ伝えていきます。（町長）	住民課	12月4日に神奈川県警に確認したところ、来年度については県内で10箇所程度統廃合する予定とのことですが、具体的な箇所については来年1月以降に公表する予定のことです。
5	県道511号の高田橋と昭和橋の間に歩道がなく不便なので設置してほしい。昔は県道を迂回して下小沢・大塚下などの水田内に行く人もいたが、工場が建ち並んで直線で行けなくなったため、そちらを通る人を見なくなった。	県道511号は、圏央道が開通して大型車が増えました。歩道の設置は、毎年、県へ要望をしていますので、引き続き粘り強く要望を続けてまいります。（町長）	道路課	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
6	六倉区内には防災行政無線の子局が5箇所あるが、下六倉には無く、六倉坂上の子局の放送を聞き取れない。聞こえないことはないが、音が割れて聞こえる。先日の台風19号の際には、役員が各戸に電話をして避難指示を伝えた。	台風19号の際には、城山ダムの緊急放流があったということで、区の役員の皆さんや消防団員の皆さんにも避難に関して大変なご協力をいただき、ありがたく思っております。(町長) 平成30年度から令和2年度にかけて、防災行政無線デジタル化の工事を進めています。その中で、声が届く範囲の調査をしており、遠くまで声が届くようなスピーカーなども導入しています。下六倉で音が割れて聞こえるということですので、現地を確認して、音量の調整などを行います。(危機管理室長)	危機管理室	同左
7	自治会をPRするホームページを、町ホームページに掲載できないか。決算報告や地域の紹介など。	町ホームページ内に、町民活動サポートセンターのホームページを設けており、現在、六倉区を含めて12の行政区のページがありますので、そちらを活用いただければと思います。(総務部長)	行政推進課	12月11日の区長会議において、情報・意見交換をさせていただきます。
8	防災行政無線がデジタル化したとしても、家の中で聞けるかという、そういうわけではない。町の計画の中で戸別受信機・防災ラジオの設置を進めるとあるが、予算の関係で難しいという。下六倉など、洪水の危険度が高いところだけでも設置できないのか。	戸別受信機の設置は、災害時の課題のひとつです。来年度予算編成の中で、補助制度をつくるのか、無償配布にするのかも含めて、総体的に検討して早めに結論を出していきたいと思っています。防災ラジオの場合は町内に基地局を設置する必要がありますが、費用が1億～2億円かかるということですので、戸別受信機の希望者を募るといった方式も含め、検討します。(町長)	危機管理室	同左
9	7に関連して、自治会の会員が減っている中で、自治会のPRをするためには、サポートセンターのホームページではなく、町ホームページに直接掲載されなければならないと思う。ページの雛型を作って、各行政区が原稿を町に渡せば掲載されるという方式でもいいと思う。	自治会の加入率が下がっていることについて、区長会と町で対策を検討しています。ホームページについては、来月の区長会の中で、区長の皆さんのご意見を聞かせていただいて、できることから実施したいと思います。(町長)	行政推進課	12月11日の区長会議において、情報・意見交換をさせていただきます。
10	第1号公園のイチヨウやカエデの葉が歩道に落ちて滑りやすい。	落ち葉については、対策を町でも研究しています。老木などは伐根処理をしていますが、1本あたり約30万円のように費用もかかりますので、順次、計画的に進めています。(町長)	道路課	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
11	第1号公園のランニングコースは、雨の後に非常に滑りやすい。	ランニングコースにつきましては、木の根で盛り上がっているとあります、そこは修理をしました。(教育長) コケのようなもので滑りやすいところがありますので、高圧洗浄でどの程度の範囲を洗浄できるか検討しています。(教育次長) スポーツの町宣言をしていますので、現地を確認し、新年度で対応ができるよう、努力してまいります。(町長)	スポーツ・文化振興課	同左
12	第1号公園前のバス停に、ごみやたばこの吸い殻、ペットボトルが放置されている。神奈川中央交通とも相談して、看板設置などの対応ができないか。	過去にも同様なご意見をいただき、ポイ捨て禁止の看板を設置しました。それでも効果がないということかと思っておりますので、現地を確認し、さらに有効な対策がないか検討させていただきます。(環境経済部長)	環境課	同左
13	町のPRとして、ご当地ナンバーの導入はできないか。原付には導入しているが、普通自動車や軽自動車のナンバーにも導入できないか。	町でナンバーを発行できるのが、原付やバイクとなっています。普通自動車と軽自動車のご当地ナンバーは、対象がさらに広い範囲でのものになりますので、愛川町のPRということは、難しいかと思っております。(総務部長)	税務課	普通自動車等のご当地ナンバープレートは、国土交通省で定めた基準に基づき導入されます。また、地域名表示の追加は、当該地域の住民や自動車ユーザーの意向であることが前提であり、都道府県内のバランス等の基準への適合性は都道府県の判断が必要となります。 【地域名表示導入の基準】 ①対象地域内の登録自動車 ^が 10万台を超えていること。(11月30日現在の登録台数:14,258台) ②対象地域において、地域住民の合意形成が図られることや、当該地域を管轄する都道府県内における他の地域名表示の対象地域と比較し、人口・登録自動車の台数等に関して、極端なアンバランスが生じないこと等

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
14	愛川町は「町民みなスポーツの町」を宣言しており、子供たちも気持ちよくスポーツを楽しめなければならないと思うが、町陸上競技協会の方の対応が良くなく、子供たちの参加意欲が削がれている。	子供たちのスポーツに親しむ心を育むというのも行政の仕事ですので、しっかりと取り組みをしていきたいと思ひます。町ではさまざまなスポーツのイベントを開催しています。文化面でも著名人を招いたイベントを開催するなど、スポーツ・文化の両面で力を入れています。ご意見の件は、教育委員会からしっかりと指導をし、皆さんが気持ちよく参加できるようにしていきたいと思ひます。(町長) 町陸上競技協会にはいろいろと町にご協力をいただいているところではあります、町体育協会全体の問題でもあるかと思ひますので、協会の会長へも伝えて、改善を図るよう努めたいと思ひます。(教育長)	スポーツ・文化振興課	いただいたご意見を12月2日に会長へ伝え、改善を図るよう要請しました。
15	中津2026番地と2335番地の間の道路は、道幅が狭く、車が通ると歩行者は畑によけている。また、車のすれ違いもできない。さらに、雨が降ると水たまりができて歩行に困るほか、畑の土が道路に流れ出て、乾くと砂ぼこりが舞い上がるような状況である。	よく現地を確認して、対応したいと思ひます。(町長)	道路課	11月27日に現地を確認しました。道路の水たまり箇所は12月4日に舗装の補修をしました。
16	愛川聖苑での、町民の火葬料の有料化が、議会で否決された。受益者負担の観点からすると、無料でいいのかと感じる。今後、町としてはどう取り組んでいくのか。	町民の方の火葬料を、無料から8,000円にするという提案につきまして、ご承知のように議会で否決となりました。8,000円というのは、概ね火葬に必要な灯油代でして、この程度は受益者負担をお願いしたいということで提案しましたが、また然るべき時期に、提案をさせていただきたいと思ひます。(町長)	住民課	同左
17	大塚下のほうから、特に木・金曜日になると悪臭が漂ってくる。実態調査や指導を。	実際の悪臭の状況などを確認し、対応させていただきます。(環境経済部長)	環境課	11月29日の20時30分、21時00分、21時30分、21時45分に確認をしましたが、悪臭のある状況は、確認できませんでした。今後、区長さんと相談し、強い臭いが発生した場合には、日時・臭いの種類・風向き等を地域の方に記録していただくなど、具体的な状況確認方法も含め検討し、対応してまいります。
18	海老名市・茅ヶ崎市などで、ごみ回収の有料化が進んでいるようだが、町の考えは。	現在、厚木市・愛川町・清川村で厚木愛甲環境施設組合を設立し、ごみ処理を共同して行っています。3市町村で状況を見ながら、受益者負担を求めめるのか、無料でいくのか、検討を進めていきます。(町長)	環境課	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
19	子供たちへの環境教育を進めてほしい。	環境教育については、生活科・社会・理科などの教科で、学習指導要領に沿って行っています。そのほかに、総合的な時間の中で、紙のリサイクル施設を見学するなど、各学校で取り組んでいます。環境教育は非常に大切だと考えていますので、内容が充実するよう、校長会などでも話していきたいと思います。(教育長)	指導室	同左
20	放課後児童クラブ(学童保育)の待機人数はどのくらいか。特にひとり親の場合は、夜勤などの仕事をする場合に、子供を預けるところがないと支障が出る。放課後児童クラブや保育園の時間を延長するなどの対応を。	放課後児童クラブは、町立の各小学校に設置していますが、半原・高峰地区では待機がないものの、中津地区では待機している方がいます。かわせみ広場と放課後児童クラブを合わせた形で、人数の枠を広げられないか研究しています。現在、時間の延長の前に、待機の解消に優先的に取り組んでいるところです。(教育長) 菅原小学校の放課後児童クラブでは、11月1日現在で9人の方が待機となっています。(教育次長) 保育園の時間延長については、保護者の方のご意見もうかがいながら、検討していきたいと思っています。(民生部長)	生涯学習課 子育て支援課	放課後児童クラブの待機児童数は、11月1日現在、半原、田代、高峰、中津小学校では待機児童はいませんが、中津第二小で9人、菅原小で9人、合計で18人です。時間の延長については、放課後児童クラブ利用者の利用実態やニーズを踏まえて、開所時間の延長等を検討してまいります。(生涯学習課) 同左(子育て支援課)
21	菅原小学校で、一部の先生が男子に対して「さん」付けで名前を呼んでいた。これでは、子供の方が上の立場になってしまい、好ましくないと思う。あくまでも「先生は先生ですよ」という意識付けが必要ではないか。	先生が上から目線で子供に指導するという、そういう意識は非常に弱くなっています。一人一人の子供を大切にすることで、「さん」付けが多くなっています。また、昔は男子は「君」、女子は「さん」で呼んでいましたが、今は男女の区別をせずに「さん」で呼んでいる傾向があります。「さん」付けであっても、魅力ある先生になれば地位が低くなるということはありませんので、教員の質の向上が重要かと考えています。(教育長)	指導室	同左
22	六倉坂、中津2390番地・2400番地付近の道路拡幅の進捗状況は。	昨年度に測量を行い、今年度は地権者の方への説明会を10月8日に行いました。今後、どの程度の用地が必要かを町で検討し、地権者の方のご協力が得られるようであれば、用地買収、工事ということになっていきます。(建設部長)	道路課	同左
23	六倉区内で2年ほど前に火災があり、その際に消火栓を使用しようとしたら、消火栓ボックスがないということがあった。六倉区には消火栓が40数箇所あるが、調べたところ、そのうち約10箇所にボックスがなかった。設置費用や設置作業は、区や地元消防団の負担になるので、昨年度のミーティングでも町による設置を要望したが、検討状況は。	消火栓ボックスの設置につきましては、地元消防団から町に要望があり、実際の設置も消防団に行っていたいでいます。民地に設置をする場合に、町が行うと非常に煩雑な処理となってしまいますので、地元内での対応をお願いしているところです。(消防長) 設置費用につきましては、消火用ホースは町から全額補助していますが、消火栓ボックスとホースの筒先は半額補助となっています。今後、検討させていただきたいと思います。(危機管理室長)	消防課 危機管理室	同左

	意見・要望要旨	当日の回答要旨	担当課	処理状況など
24	23について、今年度、本来は5～6基の消火栓ボックス設置を町へ要望したかったが、地元消防団から「そんなに多くは対応できない」という意見があり、2基の要望とした。このように、消防団の負担が大きくなっている。安全・安心が優先なので、町での設置をお願いしたい。	消防団の部長会議などもありますので、協議をして、前向きに検討していければと思います。(消防長)	消防課	同左
25	内陸工業団地の歩道脇の植栽に多数のごみが捨てられている。企業への協力依頼など、ごみ削減の取り組みを検討してもらいたい。	(閉会後の要望のため、当日の回答は無し)	環境課	内陸工業団地における歩道脇等の植栽につきましては、各企業の管理地となりますが、ごみのポイ捨て等は、各企業に共通した課題であると考えられますことから、内陸工業団地協同組合と連携して取り組んでまいりたいと考えております。
26	外国人の方の自治会加入について、町の基本的考え方は、今年、町内会で外国人の2世帯に自治会に加入していただいたが、「配布物・回覧物が日本語のため読めない」「自治会について理解してもらうのが難しい」「回覧物をまわしてもらえない」などの課題があり、2世帯とも退会してしまった。	(閉会後の要望のため、当日の回答は無し)	行政推進課	町では、活力ある地域づくりや、災害時等に助け合うことができるご近所関係づくり等の観点から、外国の方の世帯であっても、自治会に加入していただきたいと考えていますが、言葉の壁や、生活習慣・文化の違い等から、自治会の意義や活動内容を、外国の方にご理解いただくのが難しいことも多いと存じます。こうしたことから、町では本年度から、外国籍住民のみなさんが、不安なく安心して暮らすことができるよう町職員と通訳が地域や職場などへ出向き、やさしい日本語と母国語で、日常生活に必要な情報交換や相談に応じる「外国籍住民のための出前講座」を行っております。自治会のことやごみの出し方等、身近な内容についてお話しさせていただきますので、ぜひご利用ください。なお、町からは、多言語に翻訳した「ごみの出し方カレンダー」や、国や県の公共機関が作成した、自治会についての外国語での説明資料を提供していますので、これらも活用しながら、理解を得ていただきますよう、お願い申し上げます。